

ハウレンソウ周年栽培の産地形成支援

◎取組の概要

新城市作手地区では平成 23 年から標高の高さを活かし、ハウレンソウの周年栽培に取り組んでいます。経済連、市、農林業公社、JA、農業改良普及課が協力して担い手の受入から就農後の技術習得まで支援しています。2 年間の試験栽培を経て、平成 26 年度から 1 名が、平成 27 年度、新たに 1 名が経営を開始しました。

平成 26 年度は、春秋作は品質の良いものが出荷できましたが、高単価で取引される夏季作型の生育不良が目立ったため、平成 27 年度は夏季の生産安定を目標として栽培技術改善を実施しました。



作手ハウレンソウ栽培

◎取組の成果

夏季に品質のよいハウレンソウを出荷するには、土壌物理性が良好であることが重要です。土壌物理性が悪いと灌水がしっかりできないため、生育不良の原因となります。そこで、平成 26 年の夏以降、継続的に有機物投入による土づくりに取り組んだ結果、生育不良ほ場の改善効果がみられました。更に土壌透水性を良好にするため、深耕処理試験を行った結果、深耕による増収効果が確認できました。

また、種苗会社と連携して地域に適した優良晩抽性品種の選定や、病害防除、施肥改善等の栽培研修会を毎月開催しました。栽培農家と関係機関が一体となって日々栽培改善に取り組んでいます。



サブソイラを使って耕盤破壊
(H27.4.17 新城市作手)

◎今後の展開方向

新たにハウレンソウ栽培を始めた 2 名の生産者は、規模拡大による収益向上を目指しています。農業改良普及課では、2 名の経営安定を図るため、夏季の栽培技術改善を支援し、安定出荷を継続支援しています。省力的に深耕処理を行うには専用機械の導入が必要で、生産者と補助事業の活用を検討しています。今後、連作障害の発生が予測され、その対策に向けて情報収集を行い、事前対策を検討しています。

これからもハウレンソウ農家 2 名の経営的自立を支援するとともに、産地育成に向けて新たな担い手の確保に関係機関が一体となって取り組みます。



関係者と生産者の情報交換
(H28.1.14 新城市作手)

愛知の酒米新品種「夢吟香」を用いた 吟醸酒の商品化

◎取組の概要

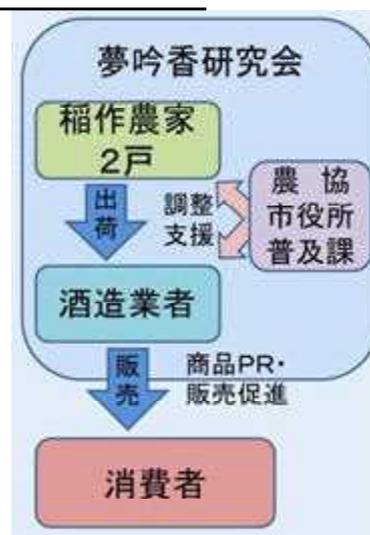
農業改良普及課では、平成 22 年度から新城市で、愛知の新しい酒米品種「夢吟香」を用いた地酒吟醸酒の商品化に取り組みました。

平成 22 年度に J A 愛知東や新城市と協力してプロジェクトを立ち上げ、平成 23 年度から 2 年間で酒米「夢吟香」の試験栽培と吟醸酒の試験醸造に取り組みました。試作に必要な経費はオーナー制で資金調達しました。その結果、平成 25 年 3 月に新酒発表会を開催し、吟醸酒の商品化を決定しました。

平成 25 年度からは稲作農家と酒造業者との契約生産に切り換え、平成 26 年 4 月夢吟香研究会の発足により、良質な酒米づくりや計画的生産販売の体制を整えることができました。

平成 26 年度からは消費者交流として、夢吟香研究会主催で、田植、稲刈、酒の仕込を消費者に体験させる通年型の酒造りイベントにも取り組んでいます。

農業改良普及課では、プロジェクトの企画・運営、関係者の連絡調整、酒米生産技術の指導を行い、酒米「夢吟香」の産地育成と地酒吟醸酒の商品化を推進しました。



夢吟香研究会の概要

◎取組の成果

新城市で稲作農家と酒造業者による酒米「夢吟香」の契約生産が取り組まれ、地酒の吟醸酒が商品化されました。「夢吟香」の平成 27 年度生産実績は栽培面積 3ha、生産量 12 t まで増加しました。

「夢吟香」の販売価格は契約生産により高値で安定しているため、単位面積当たりの売上は主食米より 58 % 増加し、稲作における収益向上のモデル事例をつくることができました。



夢吟香を原料とした
地酒の吟醸酒

◎今後の展開方向

今後、新規生産者の確保と生産技術の向上を図り、新城市を酒米「夢吟香」の産地化を図ります。



酒造りイベント(田植)の様子
(H27.6.7 新城市富岡)

平成27年度木材生産量向上対策実証事業による
更新施業モデル実証の現地見学会を開催

◎取組の概要

新城設楽地域のスギ・ヒノキ人工林は、その約7割が50年生以上の林齢に達しています。一方で、木材価格の低迷や二ホンジカなどによる獣害の懸念から、「伐る（収穫する）・使う、植える、育てる」というサイクルができていない状況にあり、若い森林は激減しています。

この状況の長期化は、「木材需要に対する供給や規格、価格等における対応」、「架線技術や造林等技術の継承」、「種苗の供給体制」、「山村地域の活性化」にも影響を与えることから、今後は、間伐を主体とした木材生産だけでなく、条件の合う山では、主伐（更新を前提とする皆伐等）と、再造林を行って循環を図ることが求められています。

そこで、平成27年度木材生産量向上対策実証事業（更新施業モデル実証）では、皆伐・更新施業を一貫して行うこと等によりコスト削減を図るとともに、植栽した苗が確実に成林するために必要な対策等を明らかにし、持続可能な林業経営を目指した更新施業モデルとして、普及啓発することとしました。

（1）実証地の概要

- ・場所：北設楽郡豊根村下黒川 地内（豊根村有林）
- ・面積：1.03ha ・樹種：スギ・ヒノキ ・林齢：98年生

（2）施業の内容

皆伐施業：高性能林業機械による低コスト木材生産

再造林：獣害防止柵を設置し、スギ・ヒノキのコンテナ苗を植栽

＊スギは、花粉の少ない「あいちニコ杉」

（3）現地見学会

現地見学会は、獣害防止柵設置後の植栽作業中に開催し、森林所有者始め76名の林業関係者に再造林の状況を見学していただきました。

現地にはテント、スクリーン等を用意し、森林の現状や、低コスト木材生産の状況、施業前に撮影した二ホンジカが山を駆け回る様子等を、映像で見せていただきました。

また、見学会後半には、獣害対策やコンテナ苗植栽なども体験していただきました。



現地見学会での座学の様子

(H27.12.10 豊根村)



獣害防止柵の説明

(H27.12.10 豊根村)



皆伐による木材生産の状況

(H27.12.10 豊根村)

◎取組の成果

従来、皆伐と再造林に伴う施業は別々に扱われており、地拵え作業や獣害対策資材等の運搬は、人の力に頼っていましたが、木材生産機械を利用した「皆伐と再造林の一貫作業」により、コスト削減を図ることが可能となりました。

◎今後の展開方向

持続可能な林業経営を目指した更新施業や、森林資源が循環する仕組み作りは、まだ始まったばかりで課題も多いと思われますが、一つ一つを解決して、事例を積み重ねることにより、循環型の林業が地域に浸透することが期待されます。

2 「農・林のある暮らし」の実践

奥三河！まるごと たべりん祭の開催 《JA愛知東とコープあいちの協同組合まつり》

◎取組の概要

平成 27 年 10 月 24 日に JA 愛知東とコープあいちの主催による「奥三河！まるごとたべりん祭」が新城市ふれあいパークほうらいで開催されました。

JA 愛知東（生産者）とコープあいち（消費者）は、協同組合同士、地域への貢献を上げるため「総合提携活動」を締結し、毎年「山と水と緑の協同組合まつり」（今回 17 回目）を開催しています。平成 27 年も JA 愛知東の「JA まつり」と合同で開催をしました。

当日は、「JA ことども農学校 “ことども八百屋さん”」や食育推進ボランティアによる「防災レシピ親子料理教室」の他、新城市食育キャラクター「お食べん武将隊」塗り絵コーナー、愛知の伝統野菜「八名丸さといも」の芋煮汁や鳳来牛の串焼きの試食など、盛りだくさんの催しが行われました。

農政課では、実行委員会にも参加し、「奥三河！地産地消展示会」をブースで実施、食育の啓発活動を行いました。



奥三河！地産地消展示会の様子
(H27.10.24 新城市)

◎取組の成果

当日は、約 6,200 名の来場者があり、「防災レシピ親子料理教室」には、31 名（11 組）の親子の参加があり盛況のうちに終わることができました。また、「奥三河！地産地消展示会」では、80 名以上の方が来場されました。

親子料理教室や展示会を通じて、地産地消、食育推進につながる PR ができました。



防災レシピ親子料理教室の様子
(H27.10.24 新城市)



ステージイベントの様子
(H27.10.24 新城市)

◎今後の展開方向

- ・毎回好評な「JA まつり」と「山と水と緑の協同組合まつり」の合同開催が、今後も継続して行われるよう関係者と連携し検討していきます。
- ・愛知の伝統野菜「天狗なす」と「八名丸さといも」の消費拡大を目指します。
- ・県としては、奥三河を中心とした「いいともあいち運動」のさらなる PR に加え、食育推進事業などを広く紹介していきます。

県・市町村・農協・ボランティアの連携でPR 「山里食育まつり in 茶臼山高原いも煮会」(豊根村)の開催

◎取組の概要

新城設楽地域の農林水産物は、生産量が少ないうえに産地が分散しており、消費者へ特徴やイメージが伝わっていません。

管内市町村やJA愛知東、コープあいち、地域食育推進ボランティア等と連携して食育・いいともあいち運動の企画、「山里食育まつり in 茶臼山高原いも煮会」を平成27年10月11日豊根村の茶臼山高原で開催し、食育講演会と豊根村産の新米「チヨニシキ」を利用した「羽釜ごはんでおにぎり作り」を行いました。

また、農政課では、管内の農産加工品の展示会「新城設楽山里美味展示会」を同時に開催し、地域版地産地消の紹介を行い消費者へのPRに努めました。



食育講演会の様子
(H27.10.11 豊根村)



おにぎりづくりの様子
(H27.10.11 豊根村)

◎取組の成果

- ・「地域食育推進ボランティア」の「羽釜ごはんでおにぎり作り」に8名の参加がありました。
- ・食育講演会「楽しく食べる食育で、子どもが伸びる！」に13名の参加がありました。
- ・「新城設楽山里美味展示会」により地域の農産加工品のPRができました。

◎今後の展開方向

- ・地域食育推進ボランティアとの連携企画の継続を検討をします。
- ・市町村・農協と農林水産事務所の食育・地産地消企画の継続を検討します。



山里美味展示会の様子
(H27.10.11 豊根村)



羽釜炊きの様子
(H27.10.11 豊根村)